

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0102	科 目 名	デジタルワーク基礎Ⅰ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	麻生 裕之			履修区分	演習
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	Office2019（実教出版）			参考書	無し		
成績評価	出席(25%)、課題(25%)、確認テスト(Word25%、Excel25%)						

1. 授業概要

Windows、Word、Excel、OneDrive、Outlook、Teams の基本的な操作を学び、Word による文書作成と Excel による表計算の基本スキルを修得する。またネットワークを使ったファイル管理を通じて、クラウドサービスとの連携スキルを修得し、スマートフォンなど他のデバイスでも作業ができるようにする。

2. 到達目標

Windows、Word、Excel、OneDrive、Outlook、Teams の基本操作と、Word と Excel による基本的な文書の作成、クラウドを利用したファイルの管理ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	Windows 基本と OneDrive
2	ファイル管理とデータ連携 (Microsoft365、OneDrive、Teams)
3	Teams と Outlook、メール送受信、ファイル共有
4	Word1 基本操作、文字入力
5	Word2 文書作成と移動とコピー
6	Word3 表の編集と装飾
7	Word4 図形と写真とテキストボックス
8	Word5 企画書、まとめ
9	Word6 確認テスト
10	Excel1 データ入力の基本 1
11	Excel2 データ入力の基本 2
12	Excel3 履歴書の作成と印刷
13	Excel4 計算式と関数
14	Excel5 データ管理、グラフの作成
15	Excel6 確認テスト
16	テスト解説
17	総まとめ、講評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0103	科 目 名	デジタルワーク基礎Ⅱ		科目区分	兼任	
科 目 群	教養	担当講師	麻生 裕之		履修区分	演習	
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	Office2019（実教出版）			参考書	無し		
成績評価	出席(25%)、課題(Word25%、Excel25%)、演習(25%)						

1. 授業概要

Word を使った企画書や台本などの作成、Excel を使ったスケジュール表・香盤表などの作成などの実践的な文書作成スキルを修得する。また PowerPoint の基本操作を学び、PC を使ったプレゼンテーションのスキルを修得する。

2. 到達目標

Word や Excel と使った実践的な文書の作成と、PowerPoint を使ったプレゼンテーションの準備と発表ができるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	Word1 長文資料、台本などの作成
2	Word2 グラフィカルな資料、企画書の作成
3	Excel1 清算書などの作成
4	Excel2 スケジュール表の作成
5	PowerPoint1 基本操作
6	PowerPoint2 図形と画像
7	PowerPoint3 動画、アニメーション
8	PowerPoint4 印刷物の作成
9	プレゼンテーション1 情報収集と整理
10	プレゼンテーション2 素材の利用
11	プレゼンテーション3 発表データ作成1 テーマ決定、構成
12	プレゼンテーション4 発表データ作成2
13	プレゼンテーション5 発表データ作成3
14	プレゼンテーション演習1
15	プレゼンテーション演習2
16	講評
17	まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0104	科 目 名	デジタルワーク応用 I		科目区分	兼任	
科 目 群	教養	担当講師	麻生 裕之		履修区分	演習	
開講学年	2	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	講師作成資料			参考書	無し		
成績評価	出席(40%)、課題(Word30%、Canva30%)						

1. 授業概要

デバイス間のファイル共有と、Word による実践的な文書（企画書、台本、資料）の作成を学ぶ。また Canva を利用したグラフィカルなデータ作成のスキルを修得する。

2. 到達目標

ファイル共有を理解し、デバイス間でのデータ連携ができるようになる。Word を使用した台本や企画書などの作成ができるようになる。Canva の基本操作を学び、グラフィカルな資料や素材を作成できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	情報管理と Windows 応用編
2	Outlook とメール、ファイル共有とデータ連携
3	Word1 伝わる書類づくり（余白、行間、フォント）
4	Word2 文書作成（スタイルと目次、ページ数、検索と置換、表示）
5	Word3 写真や図形の挿入、整列、文字列の回り込み、PDF 出力
6	Word4 企画書等の作成 1 コメント機能、差し込み印刷
7	Word5 企画書等の作成 2 長文資料、スタイル、目次、ページ数、リンク
8	Word6 課題制作
9	Canva1 基本機能、フォント、配置
10	Canva2 テンプレートの利用、素材の利用
11	Canva3 写真・図形・動画の挿入
12	Canva4 様々な機能の活用
13	Canva5 課題作成 1
14	Canva6 課題作成 2
15	Canva7 課題作成 3
16	課題提出
17	講評、まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0105	科 目 名	デジタルワーク応用Ⅱ		科目区分	兼任	
科 目 群	教養	担当講師	麻生 裕之		履修区分	演習	
開講学年	2	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	講師作成資料			参考書	無し		
成績評価	出席(40%)、Excel 課題(30%)、プレゼンテーション(30%)						

1. 授業概要

Excel による実践的な文書（参加者リスト、清算書、スケジュール、ガントチャート）の作成を学ぶ。また、PowerPoint や Canva を利用して、自身の考えをプレゼンテーションするスキルを修得する。

2. 到達目標

Excel を使った実践的な文書作成と、PowerPoint や Canva を利用し、自身の考えをもとにしたプレゼンテーションができるようになる。
--

3. 授業計画

後期	
1	Excel1 参加者リスト、入力規則、数える（COUNTIF）、印刷設定
2	Excel2 清算書の作成、合計、条件判定（COUNTIF,IF）
3	Excel3 スケジュール表（カレンダー）の作成
4	Excel4 ガントチャートの作成
5	Excel5 香盤表の作成、まとめ
6	PowerPoint1 フォント設定、画面設定、ガイドライン、スライドマスタ
7	PowerPoint2 スライドマスタ、アニメーション、画面切り替え
8	PowerPoint3 スライド作成 1
9	PowerPoint4 スライド作成 2
10	プレゼンテーションの準備、テーマの決定、情報収集と整理
11	プレゼンデータ作成 1 情報収集、デザイン、素材
12	プレゼンデータ作成 2 アニメーション、画面切り替えなどの設定
13	プレゼンデータ作成 3 データ完成
14	プレゼンテーション演習 1
15	プレゼンテーション演習 2
16	課題提出、講評
17	まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0201	科 目 名	番組制作実習Ⅰ			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	財津功 環真吾 篠宮浩司			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書				参考書			
成績評価		課題提出率50%、講義内容の理解度50%					

1. 授業概要

TV ディレクターの職務内容、目的、基本技術、考え方を理解し身に付けると同時に、実習を通してクリエイティブ活動の面白さを体験していく。

2. 到達目標

企画書、構成台本、ロケ、収録、編集の5項目において、その基本技能を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	TV ディレクターとは1
2	スマホで撮影・編集の仕方
3	30 秒動画「私の好きなもの」 1
4	30 秒動画「私の好きなもの」 2
5	講評
6	60 秒動画「私の好きなもの」 1
7	60 秒動画「私の好きなもの」 2
8	60 秒動画「私の好きなもの」 3
9	60 秒動画「私の好きなもの」 4
10	講評 1
11	講評 2
12	TV ディレクターとは2
13	共感という考え方 1
14	共感という考え方 1 2
15	共感という考え方 1 3
16	TV ディレクターとは3
17	前期ふりかえり
後期	
1	2 分動画「私の町」 1
2	2 分動画「私の町」 2
3	2 分動画「私の町」 3
4	2 分動画「私の町」 4
5	2 分動画「私の町」 5
6	講評 1
7	講評 2
8	TV ディレクターとは4
9	企画書 1
10	企画書 2
11	企画書 3
12	自由課題動画 1
13	自由課題動画 2
14	自由課題動画 3
15	講評 1
16	講評 2
17	TV ディレクターとは5

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	テレビディレクター学科	
科目番号	0214	科 目 名	ロケ取材基礎		科目区分	兼任 実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	梶田一郎 / (放送映像)		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書	なし		
成績評価	試験 30%、課題 30%、レポート 20%、授業への貢献度 10%、出席率 10%						

1. 授業概要

制作者としての機材操作を習得し技術職との関わりを学習

2. 到達目標

撮影技術を理解し、効率よい現場作業ができる

3. 授業計画

前期	
1	テレビジョンとは、放送の仕組み
2	技術用語、撮影サイズの習得
3	制作カメラの基本操作 1 機材庫利用方法・各機材説明・バッテリー充電法
4	制作カメラの基本操作 2 三脚・カメラ電源・各スイッチの操作法
5	制作カメラの基本操作 3 ホワイトバランス・シャッタースピード・ゲイン
6	制作カメラの基本操作 4 録画モード設定・TC設定・収録媒体説明
7	制作カメラの基本操作 5 音声入力説明
8	制作カメラの基本操作 6 パン・チルト・ズーム・フォーカス
9	制作カメラの基本操作 7 撮影準備～撮影開始までの手順 撮影マナー・ルール説明
10	撮影実習 1 基本サイズの撮り方
11	照明実習 照明を使った撮影方法
12	音声実習 マイクの種類 ミキサー
13	制作カメラの基本操作 復習
14	実技試験
15	実技試験
16	実技試験
17	前期まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	テレビディレクター学科
科目番号	0203	科 目 名	ロケ取材応用			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	梶田一郎 / (放送映像)			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書	なし		
成績評価	試験 30%、課題 30%、レポート 20%、授業への貢献度 10%、出席率 10%						

1. 授業概要

制作者としての機材操作を習得し技術職との関わりを学習

2. 到達目標

撮影技術を理解し、効率よい現場作業ができる

3. 授業計画

後期	
1	技術との関わり&組織 スタジオ・中継・ロケ・ポストプロ
2	4K高画質制作&配信番組の仕組み
3	カット割り実習1 音楽番組用カット割り
4	カット割り実習2 音楽番組用カット割り
5	カット割り実習3 音楽番組用カット割り
6	MVの作り方
7	MV撮影実習1
8	MV撮影実習2
9	MV撮影実習3
10	MV撮影実習4
11	MV撮影実習5
12	MV撮影実習6
13	MV撮影実習7
14	MV撮影実習編集
15	MV撮影実習編集
16	MV撮影実習PV
17	後期まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	テレビディレクター学科
科目番号	0204	科 目 名	制作美術講座			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	高野雅裕			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	無し			参考書	無し		
成績評価	授業への貢献度 50%・発表課題 50%						

1. 授業概要

テレビ番組の演出家として「美術」を理解し、詳しい知識・必要な基礎スキルを学ぶ！

2. 到達目標

「テレビ美術」を理解することで、番組制作に於ける美術（セット・ロケ道具）への円滑な発注スキルを身につける！

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス：講師自己紹介・年間スケジュール・テレビ美術とは
2	「美術」の仕事フロー・現放送中ドラマ紹介・セットデザイン実例～
3	様々な「美術」の仕事・役割・言葉を紹介
4	学生「自己紹介」・セットデザインについて（図面・パース・表現・色）
5	バラエティー美術について（ロケ番組・トーク番組・クイズ番組・歌番組・コント）現役デザイナー講師
6	音楽番組・歌セットを描いてみよう！（好きなアーティストのデザイン）
7	セット（課題）の講評
8	映画・撮影所・テレビスタジオについて テレビ局比較・歴史・美術史について
9	ドラマ・映画美術について・現役デザイナー講師
10	ドラマセット（身近な空間）を描いてみよう！
11	セット（課題）の講評
12	大道具・小道具・衣装・メイク・特殊効果（美術協力会社について）・TVer・Netflix 他、配信への対応と取り組み
13	民放番組制作に於いての、スポンサーへの配慮（プロップデザイン）・SDGs の取り組み・危機管理
14	作りたい番組を構想し「美術（ロケ・セット）」へ発注① 美術との関わり方（制作）
15	作りたい番組を構想し「美術（ロケ・セット）」へ発注① 美術との関わり方（実践）
16	講評（美術を発注するポイント）・演出における美術セットと円滑な発注
17	「テレビにおける美術」まとめ・今後の美術の取り組み・3DCG デザイン他・制作手法の変化（高精細 LED ビジョン）

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター
科目番号	0204	科 目 名	テレビ音声基礎Ⅰ		科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春		履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	1	授業形態
教科書	なし			参考書	なし	
成績評価						

1. 授業概要

ディレクターの立場からテレビ音声の役割を理解し、他の部署との協調性を常に保つよう心掛け、音声の魅力を習得する。

2. 到達目標

テレビ音声の重要性を理解する。
音声の基礎と機器の操作方法を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	テレビ音声とは
2	音声機器について
3	マイクフォンについて
4	ミキサーについて
5	収録機器について
6	ENG 実習 1
7	ENG 実習 2
8	ENG 実習 3
9	ENG 実習 4
10	情報番組について
11	情報番組について(CUE シート)
12	ドラマの音声 1
13	ドラマの音声 2
14	ドラマの音声 3
15	ポスプロについて 1
16	ポスプロについて 2
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター
科目番号	0205	科 目 名	テレビ音声基礎Ⅱ			科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価							

1. 授業概要

ディレクターの立場からテレビ音声の役割を理解し、他の部署との協調性を常に保つよう心掛け、音声の魅力を習得する。前期で学んだことの発展。

2. 到達目標

テレビ音声の重要性を理解する。
音声の基礎と機器の操作方法を身に付ける。

3. 授業計画

後期	
1	MA とは 1
2	MA とは 2
3	MA 実習(MAC の使い方 1)
4	MA 実習(MAC の使い方 2)
5	MA 実習(ProTools 使い方 1)
6	MA 実習(ProTools 使い方 2)
7	ナレーション録り 1
8	ナレーション録り 2
9	スタジオ実習 1
10	スタジオ実習 2
11	効果音、選曲の方法 1
12	効果音、選曲の方法 2
13	ENG 実習 1
14	ENG 実習 2
15	ENG 実習 3
16	期末実技試験
17	期末筆記試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0207	科 目 名	ハンリニア編集基礎1			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	金津義則			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	なし（自作テキストを使用）			参考書	なし		
成績評価	試験（前期期末筆記試験、後期末実技試験）80%と授業内課題小テスト 10%と平常点や授業への貢献度 10%で評価						

1. 授業概要

授業では編集ソフト、プレミアプロの基本操作を修得し、様々な映像の編集技法と表現技術を学ぶことで編集の奥深さと面白さ、楽しさを理解する

2. 到達目標

ディレクターとして必要な映像演出のための構成力、創造力、表現力を身に付け、映像に対する感性を磨くことを目標とする

ディレクターとして必要な映像演出のための構成力、創造力、表現力を身に付け、映像に対する感性を磨くことを目標とする

3. 授業計画

前期	
1	ノンリニア編集とは何か、編集ソフトの種類、番組制作における編集の役割
2	ノンリニア編集システムの起動と準備、ハードディスクやタイムコードの説明
3	基本編集（座っている被写体の編集）（番組交換基準、カラーバーとクレジットの作成）
4	編集の概念（映像編集とは何か、編集の考え方、映像の構成について）
5	基本編集（歩いている被写体の編集）
6	基本編集（シーンの構成を考えながら編集）
7	編集の概念（カメラワークの意味を知る、起承転結と5W1Hを考える）
8	編集の概念（編集点を探る、カットの長さの適量、主観的映像と客観的映像とは）
9	基本編集（天気素材の編集で感性の違いを知る）
10	基本編集（イベント物、原稿のある編集）
11	基本編集（テーマを選択して表現する編集）
12	編集の概念（イマジナリーラインとは）基本編集（イマジナリーラインを越えた編集）
13	タイトルスーパーの作成、編集の概念（主観客観、アクション編集など）
14	基本編集（ナレーションのある編集、タイトルスーパーを入れる）
15	トリムモード編集、スローモーションやフリーズの作成
16	応用編集（スローモーションとフリーズのある編集）
17	前期筆記試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0208	科 目 名	ハンリニア編集基礎Ⅱ			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	金津義則			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	なし（自作テキストを使用）			参考書	なし		
成績評価	試験（前期期末筆記試験、後期期末実技試験）80%と授業内課題小テスト 10%と平常点や授業への貢献度 10%で評価						

1. 授業概要

授業では編集ソフト、プレミアプロの基本操作を修得し、様々な映像の編集技法と表現技術を学ぶことで編集の奥深さと面白さ、楽しさを理解する

2. 到達目標

ディレクターとして必要な映像演出のための構成力、創造力、表現力を身に付け、映像に対する感性を磨くことを目標とする

3. 授業計画

後期	
1	編集の概念（モンタージュ理論）
2	トランジションエフェクト（ワイプ、ディゾルブ、フェードインフェードアウト）
3	応用編集（ナレーション、BGM、ディゾルブのある編集）
4	応用編集（ナレーション、BGM、ディゾルブのある編集）
5	応用編集（ナレーションと中音取り切りのある編集）
6	応用編集（ナレーションと中音取り切りのある編集）
7	応用操作（拡大と縮小などの基本エフェクト、クロップ、マルチ画面の作成）
8	応用操作（ビデオエフェクト、オーディオエフェクト、キーフレーム操作など）
9	応用操作（スーパーの演出表示、レンダリングなど）
10	応用編集（ピクチャーインピクチャーでインタビュー編集）
11	応用編集（ピクチャーインピクチャーでインタビュー編集）
12	応用編集（3面マルチ、キーフレーム操作、BGM、ナレーション、スーパーがある編集）
13	応用編集（3面マルチ、キーフレーム操作、BGM、ナレーション、スーパーがある編集）
14	応用編集（3面マルチ、キーフレーム操作、BGM、ナレーション、スーパーがある編集）
15	応用編集（ナレーション、BGM、スーパーがある長尺編集）
16	応用編集（ナレーション、BGM、スーパーがある長尺編集）
17	後期実技試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	テレビディレクター学科
科目番号	0209	科 目 名	デジタル映像基礎Ⅰ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	大和拓			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価		期末試験 10%×2。課題評価 40%。平常点や授業への貢献度 40%					

1. 授業概要

コンピュータの概念や基本操作を学ぶ。とする基礎知識を学ぶ。

2. 到達目標

主に Illustrator と Photoshop を使い作品を作りパソコン上で画像や映像の表現をできるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。パソコンの基礎知識。
2	Illustrator の基本操作解説①。
3	Illustrator の基本操作解説②。
4	Illustrator の基本操作解説③。
5	Illustrator の基本操作解説④。
6	Illustrator の基本操作解説⑤。
7	Photoshop の基本操作解説①。
8	Photoshop の基本操作解説②。
9	Photoshop の基本操作解説③。
10	自己紹介フリップを作る。
11	自己紹介フリップを作る続き。
12	架空のキャラメルの箱をデザインする。
13	架空のキャラメルの箱をデザインする続き。
14	Photoshop の基本操作解説④。
15	Photoshop の基本操作解説⑤。
16	前期のまとめ。
17	前期期末試験。
後期	
1	ハロウィンパーティー案内状を作る。
2	ハロウィンパーティー案内状を作る続き。
3	架空のショッピングモールを作る。
4	架空のショッピングモールを作る続き。
5	架空のショッピングモールを作る続き。
6	案内地図を書く。
7	案内地図を書く続き。
8	理想のリビングをデザインする。
9	理想のリビングをデザインする続き。
10	理想のリビングをデザインする続き。
11	時計の文字盤をデザインする。
12	時計の文字盤をデザインする続き。
13	テロップを飾る。
14	テロップを飾る続き。
15	テロップを飾る続き。
16	後期まとめ。
17	後期期末試験。

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	テレビディレクター学科
科目番号	0209	科 目 名	デジタル映像基礎Ⅱ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	大和拓			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価		期末試験 10%×2。課題評価 40%。平常点や授業への貢献度 40%					

1. 授業概要

コンピュータの概念や基本操作を学ぶ。とする基礎知識を学ぶ。

2. 到達目標

主に Illustrator と Photoshop を使い作品を作りパソコン上で画像や映像の表現をできるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。パソコンの基礎知識。
2	Illustrator の基本操作解説①。
3	Illustrator の基本操作解説②。
4	Illustrator の基本操作解説③。
5	Illustrator の基本操作解説④。
6	Illustrator の基本操作解説⑤。
7	Photoshop の基本操作解説①。
8	Photoshop の基本操作解説②。
9	Photoshop の基本操作解説③。
10	自己紹介フリップを作る。
11	自己紹介フリップを作る続き。
12	架空のキャラメル箱をデザインする。
13	架空のキャラメル箱をデザインする続き。
14	Photoshop の基本操作解説④。
15	Photoshop の基本操作解説⑤。
16	前期のまとめ。
17	前期期末試験。
後期	
1	ハロウィンパーティー案内状を作る。
2	ハロウィンパーティー案内状を作る続き。
3	架空のショッピングモールを作る。
4	架空のショッピングモールを作る続き。
5	架空のショッピングモールを作る続き。
6	案内地図を書く。
7	案内地図を書く続き。
8	理想のリビングをデザインする。
9	理想のリビングをデザインする続き。
10	理想のリビングをデザインする続き。
11	時計の文字盤をデザインする。
12	時計の文字盤をデザインする続き。
13	テロップを飾る。
14	テロップを飾る続き。
15	テロップを飾る続き。
16	後期まとめ。
17	後期期末試験。

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0212	科 目 名	就活講座Ⅰ			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	中井信介			履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書	プリント		
成績評価	提出作文など						

1. 授業概要

テレビ制作会社の就活でのエントリーシートや作文試験に焦点を合わせて、
わかりやすい文章を書くことを演習形式で訓練する。

2. 到達目標

読み手にわかりやすくて意図がきっちり伝わる文章の書き方を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	あなたのことを全く知らない私にあなたをアピールして下さい。自己紹介ではありません。
2	あなたのことを全く知らない私にあなたをアピールして下さい。自己紹介ではありません。
3	作文を書くにあたり考えてもらうこと①
4	作文を書くにあたり考えてもらうこと②
5	① 作文を書く「自分をPRしてください」800字。
6	作文講評
7	作文講評
8	作文講評
9	「学生時代に力を入れたこと」の書き方①
10	「学生時代に力を入れたこと」の書き方②
11	自分の恥ずかしいところを書くことで自分をPRする方法。
12	② 作文を書く「学生時代に力を入れたこと」800字。
13	作文講評
14	作文講評
15	作文講評
16	履歴書の書き方①
17	履歴書の書き方②

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0213	科 目 名	就活講座Ⅱ			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	中井信介			履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書	プリント		
成績評価	提出作文など						

1. 授業概要

テレビ制作会社の就活でのエントリーシートや作文試験に焦点を合わせて、 わかりやすい文章を書くことを演習形式で訓練する。
--

2. 到達目標

読み手にわかりやすく意図がきっちり伝わる文章の書き方を習得する。

3. 授業計画

後期	
1	「私の失敗体験」の書き方について①
2	「私の失敗体験」の書き方について②
3	実践作文を書く「私の失敗体験」800字。
4	作文講評
5	作文講評
6	作文講評
7	単語一文字タイトル「涙」という題の作文の書き方について
8	実践作文を書く「涙」800字。
9	作文講評
10	作文講評
11	作文講評
12	実践作文を書く「私の作りたい番組について」800字。
13	作文講評
14	作文講評
15	作文講評
16	エントリーシートの書き方①
17	エントリーシートの書き方②

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター
科目番号	0214	科 目 名	スタジオ実習			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	榎本悟 篠宮浩司 放送映像			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書				参考書			
成績評価	レポート50%、平常点や授業への貢献度50%。						

1. 授業概要

ディレクターとは、番組を通して人を笑わせたり、泣かせたり、考えさせたりすることが仕事です。何十万人、何百万人という人々の心をつかみ、揺さぶり、動かすことが仕事です。そのためには熱い情熱と多くの知識や技術が求められます。それに基づいてカメラマンや照明・音声など大勢のスタッフはもちろんのこと、俳優やタレントなどの出演者にも的確な指示を出さなくてはなりません。以上を、放送映像との合同授業を通じ、技術面を理解しながら習得するのが目標です。

2. 到達目標

ディレクター必須の様々な知識・技術（企画・台本・カット割り・カメラワーク・演出法・編集法など）を体得すること。スタジオワークを学ぶこと。

3. 授業計画

前期	
1	スタジオ作業
2	ディレクターとは何をする仕事か、スタジオ実技を通じ基礎を知ろう
3	ディレクターとは何をする仕事か、スタジオ実技を通じ基礎を知ろう
4	ディレクターとは何をする仕事か、スタジオ実技を通じ基礎を知ろう
5	狙いを知れ:スタジオ実技を通じ番組の各演出を見つけてみよう 演出とは何か? 実際のスタジオ実技を通じ、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう①
6	演出とは何か? 実際のスタジオ実技を通じ、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう②
7	演出とは何か? 実際のスタジオ実技を通じ、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう③
8	演出とは何か? 実際のスタジオ実技を通じ、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう④
9	ディレクターとして最低限知っておかなければならないこと:基礎実技を身に付けよう 企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう①
10	企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう②
11	企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう③
12	企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう④
13	では自分で具体的に演出をしてみよう:ディレクター演出実践編→自分に何が足りないかを知ろう ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう①
14	ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう②
15	ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう③
16	ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう④
17	前期総復習(ディレクター入門編がきちんと身についたか総点検しましょう)
後期	
1	基礎実践編:実際の番組から具体的な演出技法を学び、身に付けよう(情報バラエティ・ロケ番組編) 実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう①
2	実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう②
3	実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう③
4	実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう④
5	基礎実践編:実際の番組から具体的な演出技法を学び、身に付けよう(映画・ドラマ・CM編) 実際の映画・ドラマ・CMから演出技法の基礎を学び、身に付けよう①
6	実際の映画・ドラマ・CMから演出技法の基礎を学び、身に付けよう②
7	実際の映画・ドラマ・CMから演出技法の基礎を学び、身に付けよう③
8	実際の映画・ドラマ・CMから演出技法の基礎を学び、身に付けよう④
9	基礎実践編:実際の番組から具体的な演出技法を学ぼう(ドキュメンタリー編) 実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう①

1 0	実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう②
1 1	実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう③
1 2	実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう④
1 3	<u>己を知る:どんなディレクターになりたいか？自分に向いている演出の方向性を探ろう</u> 何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業①
1 4	何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業②
1 5	何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業③
1 6	何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業④
1 7	総復習・総点検(ディレクターの基礎は身に付きましたか。2年生に向けての準備)をしましょう。

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号		科 目 名	番組制作実習Ⅱ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	芦澤英祐 金田和樹 環真吾			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	平常点 50% 実習課題 50%						

1. 授業概要

テレビ番組など映像コンテンツを制作し発表するまでのスキルや心構えを実習を通して身につける。 ①企画の作り方（考え方）、②構成力（見たくなる、面白くなる、分かりやすくなる）の2つに重点を置き、これらのノウハウを理解し、実践する。
--

2. 到達目標

企画書が作れるようになる。構成台本が書けるようになる。ロケ・スタジオ収録の演出業務を習得する。編集やMAのスキルを習得する。実際にテレビ制作の現場に出た時に必要なスキル・心構えを習得する。映像コンテンツ制作の面白さ、やりがいを体感する。
--

3. 授業計画

前期	
1	映像コンテンツ制作の面白さ、やりがいとは？ テレビ番組の現状「ピンチはチャンス」
2	企画の考え方「視聴者が見たいものを作る？見せたいものを作る？」やりたい企画を各自発表
3	企画書の書き方①「通る企画書とは？」課題：企画書作成（2週間後に発表）
4	企画書の書き方②「制限（予算削減・コンプライアンス・働き方改革）から発想は生まれる」
5	作成した企画書を各自発表・添削
6	構成の作り方「構成＝ツカミ＋フリ＋ヒッパリ＋オチ」現代は「ヒッパリ」が難しい？
7	リサーチ「“なぜ”の積み重ね&裏どりの重要性」実習：リサーチ&発表
8	サブ上げ（ロケ）台本の書き方「台本はフリとオチの連続」課題：ロケ台本作成（翌週発表）
9	作成したロケ台本の発表・添削。ロケの準備（仕込み、スケジュール、発注）
10	ロケの仕方①（タレントロケ）ディレクター・カメラマン・タレント役に分かれて実習
11	ロケの仕方②（物撮り＝サイズやカメラワークには全て意図がある！）＝実習
12	実習：サブ上げ編集 撮った素材を各自が編集・MA・ナレーション録り
13	各自が編集したものを発表・添削
14	スタジオ収録までの作業① スタジオ台本の作り方
15	スタジオ収録までの作業② 美術発注・技術打合せ・タレント打合せ
16	スタジオ収録の仕方「カット割り、フロア進行」
17	本編編集・ナレーション録り・MAまでの流れ
後期	
1	チーム制作実習① チーム分け&役割分担決め「よいチームワークを作るには？」
2	チーム制作実習② 企画会議「活発な会議にするには？」
3	チーム制作実習③ 企画書作成
4	チーム制作実習④ 企画発表・添削 リサーチ
5	チーム制作実習⑤ 構成作成
6	チーム制作実習⑥ 構成チェック・修正
7	チーム制作実習⑦ サブ上げ（ロケ）台本作成
8	チーム制作実習⑧ サブ上げ（ロケ）台本チェック・修正
9	チーム制作実習⑨ サブ上げ（ロケ）台本完成 ロケ準備
10	チーム制作実習⑩ ロケ
11	チーム制作実習⑪ サブ上げ編集・ナレーション録り・MA
12	チーム制作実習⑫ サブ上げチェック・修正
13	チーム制作実習⑬ スタジオ台本作成
14	チーム制作実習⑭ スタジオ台本チェック 収録準備
15	チーム制作実習⑮ スタジオ収録

1 6	チーム制作実習⑩ 本編編集・ナレーション録り・MA
1 7	チーム制作実習⑪ 完パケ視聴会・総評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0217	科 目 名	ドラマ制作実習		科目区分	専任 実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	金田和樹 太田雅晴 阿部雄一		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	6	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	提出課題 60% 授業姿勢 20% 出席 20%						

1. 授業概要

ドラマ制作の基礎を学ぶことにより、ドラマのみならずバラエティーの再現シーンなども含め、いろいろな番組制作に対応できるような考え方・手法を身につける。チームの中で役割を果たすことや、状況に応じての対応など、実践的に行動することを意識しつつ、さらに、発展させて考えられるようになる。そして、社会に出ていく上で「企業が欲しがりたい人材・ともに働きたい仲間」とは何か、特にテレビ制作者として何を大切に、どんなことに気を付け、今後を見据えていくか、自ら考察できるよう導く。

2. 到達目標

ドラマを通じ、社会人になった時に制作現場で自ら進んで判断・行動できるように、経験を積む。
--

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス。ドラマとは何か、考え方、総論。
2	ドラマの企画書。発想。アピールポイント。
3	企画書に込められた制作者の思い・熱意。
4	企画書。表紙の作り方。企画意図について。リサーチ。
5	企画書。登場人物の掘り下げ。履歴書作り。
6	企画書。ストーリーの書き方。
7	企画書講評。
8	台本作成。柱の立て方。
9	台本作成。セリフとト書き。
10	台本作成。主観と客観。
11	コンテ作成。サイズとアングル。
12	コンテ作成。アクションカット。
13	コンテ作成。ドリー、ズーム、パンワーク。
14	編集。基本のつなぎ。ズリ上げ、ズリ下げ。
15	編集。様々な手法。
16	MA、音楽、効果音。フェードとカット。
17	前期ふりかえり。
後期	
1	ディレクター論、演出プラン、判断と統率。
2	スタッフ論、制作スケジュール、予算や許可申請。
3	美打ち、ロケハンについて。
4	ミニドラマ企画、役割分担。
5	ミニドラマ台本作成1。
6	ミニドラマ台本作成2。
7	ミニドラマロケハン・美打ち。
8	ミニドラマリハーサル。
9	ミニドラマ撮影。
10	ミニドラマ編集。講評。
11	卒業制作ドラマ1。
12	卒業制作ドラマ2。
13	卒業制作ドラマ3。
14	卒業制作ドラマ4。

1 5	卒業制作ドラマ 5。
1 6	卒業制作ドラマ 6。
1 7	卒業制作ドラマ講評。ドラマ制作経験を生かすために、まとめ。

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0218	科 目 名	撮影技術講座Ⅰ			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	槇本悟			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	3	開講学年	2 年
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価							

1. 授業概要

制作の現場でカメラを回す機会が多くなっているため、1人でカメラ撮影できるようにする

2. 到達目標

一人でロケに出て番組制作に必要な素材を撮影できるようになること

3. 授業計画

前期	
1	カメラの基本機能の確認 基本設定の確認（映像/音声） 人物サイズの確認
2	カメラの基本撮影技術の説明 フォーカス（手動/自動） アイリス（手動/自動） ズーム（手動/自動）の説明
3	撮影の基礎 三脚の使い方 パンニング オートフォーカス オートアイリス（逆光事の対応）
4	撮影の基礎 手持ち 構え方 トラック 人物サイズの講義 アングル講義
5	基本的な映像構成（構図、サイズ、アングル、カメラワーク）説明
6	基本的な映像構成（構図、サイズ、アングル、カメラワーク）説明
7	小型照明使用して物撮り
8	小型照明使用して物撮り
9	音の録方（内蔵マイク ガンマイク インタビューマイク）人物サイズの説明 アングル説明
10	音の録方（内蔵マイク ガンマイク インタビューマイク）人物サイズの説明 アングル説明
11	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
12	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
13	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
14	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
15	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
16	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
17	実技試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0219	科 目 名	撮影技術講座Ⅰ		科目区分	非常勤 実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	槇本悟		履修区分	選択必修	
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	3	開講学年	2 年
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価							

1. 授業概要

制作の現場でカメラを回す機会が多くなっているため、1人でカメラ撮影できるようにする

2. 到達目標

一人でロケに出て番組制作に必要な素材を撮影できるようになること

3. 授業計画

後期	
1	ミラーレス一眼カメラを使っでの撮影 ジンバルを使用したカメラワーク
2	ミラーレス一眼カメラを使っでの撮影 ジンバルを使用したカメラワーク
3	簡易スイッチャーを使用したカメラスイッチング体験
4	簡易スイッチャーを使用したカメラスイッチング体験
5	物撮り（料理 箸上げ 湯気 小物）
6	物撮り（料理 箸上げ 湯気 小物）
7	物撮り（料理 箸上げ 湯気 小物）
8	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
9	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
10	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
11	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
12	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
13	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
14	課題、テーマに沿った実践撮影（街頭インタビュー ニュース ドラマ等）
15	カメラの基本機能の確認 基本設定の確認（映像/音声） 再確認
16	カメラの基本機能の確認 基本設定の確認（映像/音声） 再確認
17	実技試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター
科目番号	0220	科 目 名	テレビ音声応用Ⅰ			科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価							

1. 授業概要

編集済み作品の整音、ナレーション、音楽効果音付けに関し反復して学びます。
また、スタジオで模擬番組を製作していく上で音声の仕事のみならず他の技術セクションの勉強もします。さらに、作品のメリハリを付けるために音のバランスについて色々な作品で学びます。

2. 到達目標

テレビ音声の重要性を理解する。
音声の基礎と機器の操作方法を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	ドラマ キャスティング コンテ
2	ドラマ収録
3	ドラマ収録
4	ドラマ収録
5	ドラマ収録
6	ドラマ MA 実習 (ProTools 1)
7	ドラマ MA 実習 (ProTools 2)
8	ドラマ MA 実習 (ProTools 3)
9	ドラマ MA 実習 (ProTools 4)
10	アテレコ録り
11	アテレコ録り
12	MA 実習 (ProTools 5)
13	MA 実習 (ProTools 6)
14	MA 実習 (ProTools 7)
15	MA 実習 (ProTools 8)
16	期末筆記試験
17	期末実技試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	TVディレクター
科目番号	0221	科 目 名	テレビ音声応用Ⅱ			科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価							

1. 授業概要

編集済み作品の整音、ナレーション、音楽効果音付けに関し反復して学びます。
スタジオで模擬番組を製作していく上で音声の仕事のみならず他の技術セクションの勉強もし、作品のメリハリを付けるために音のバランスについて色々な作品で学びます。前期で学んだことの発展。

2. 到達目標

テレビ音声の重要性を理解する。
音声の基礎と機器の操作方法を身に付ける。

3. 授業計画

後期	
1	30 秒 CM 企画
2	30 秒 CM コンテ作り 1
3	30 秒 CM コンテ作り 2
4	30 秒 CM コンテ作り 3
5	30 秒 CM コンテ作り 4
6	30 秒 CM 編集 1
7	30 秒 CM 編集 2
8	30 秒 CM 編集 3
9	30 秒 CM MA 実習 効果音、音楽選択 (ProTools 使い方 1)
1 0	30 秒 CM MA 実習 効果音、音楽選択 (ProTools 使い方 2)
1 1	30 秒 CM MA 実習 効果音、音楽選択 (ProTools 使い方 3)
1 2	30 秒 CM MA 実習 Na 録り (ProTools 使い方 4)
1 3	30 秒 CM MA 実習 Na 録り (ProTools 使い方 5)
1 4	30 秒 CM MA 実習 MIX 完成 (ProTools 使い方 6)
1 5	30 秒 CM MA 実習 MIX 完成 (ProTools 使い方 7)
1 6	期末筆記試験
1 7	期末実技試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0222	科 目 名	ノンリニア編集応用Ⅰ			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	谷崎健一			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	試験（中間試験、期末試験）50%、制作動画提出 50%						

1. 授業概要

1 年次に習得した編集知識を、現役エディターによる生の目線で、より実践に近い状況をシミュレーションし演出家としてスタートする際、編集行程において即戦力となる人材を育てる。編集ソフトの操作方法を、特に演出家が使用する機能に重点を置き、解説します。

2. 到達目標

編集ソフトの知識だけでなく
授業実習で、実機での操作に慣れ、就業時に即戦力となる事を目標とする。

3. 授業計画

前期	
1	1 年時 履修部分の確認 復習
2	実際の編集テクニック 有効な手段を重点的に
3	実地作業のための材料 収録
4	収録素材を活用したキャプチャー作業実践 TAPE 素材のケース
5	収録素材を活用したキャプチャー作業実践メディアファイル素材のケース
6	オフライン実践 カット編集における演出効果を講義しながら。
7	オフライン実践 マルチカメラ編集における演出効果を講義しながら。
8	オフライン実践 クロマキー合成の編集における演出効果、また撮影時の注意点。
9	VTR 編集とノンリニア編集の違い メリットとデメリット テレビ制作現場の現状
10	メディア管理について。TAPE の寿命 SD カードや HD の寿命と保管方法
11	特殊効果（爆破）などの合成を想定した収録のテクニックと合成編集のノウハウ
12	テロップ作成方法と主要ソフトの特色と現状（DEKO フォトショップ）
13	AVID DS スタジオを利用してノンリニア編集ワークフローの紹介 そして演出家が指揮する方法実践 編集スタジオを実際に利用し後期授業の理解度を高める
14	実地作業における個々の作品の発表と意見交換
15	実地作業における個々の作品の発表と意見交換。講師から編集アイディアを提案
16	練習用動画撮影と注意点（スマホ活用法）
17	練習用動画を利用した動画編集実践

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0223	科 目 名	ノンリニア編集応用Ⅱ			科目区分	非常勤 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	谷崎健一			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	試験（中間試験、期末試験）50%、制作動画提出 50%						

1. 授業概要

1年次に習得した編集知識を、現役エディターによる生の目線で、より実践に近い状況をシミュレーションし演出家としてスタートする際、編集行程において即戦力となる人材を育てる。編集ソフトの操作方法を、特に演出家が使用する機能に重点を置き、解説します。

2. 到達目標

編集ソフトの知識だけでなく
授業実習で、実機での操作に慣れ、就業時に即戦力となる事を目標とする。

3. 授業計画

後期	
1	DVD Bluray 作品、またはスマホ用の動画コンテンツ作品のためのコツ
2	フォント利用 フリー素材利用における著作権等の注意点
3	編集時に露見するトラブル等、事例を紹介
4	タイムコードを活用した編集術
5	音楽作品の編集テクニック
6	ドラマ作品の編集テクニック 実践
7	バラエティー作品の編集テクニック 実践
8	4K 8K 開発の現状 展望
9	VTR 編集の方法
10	OMF EDLAAF AFE MXF データーの書出し
11	アビッドまたはプレミアを利用した編集テクニック キャプチャー編
12	アビッドまたはプレミアを利用した編集テクニック 編集実践
13	卒業制作作品 制作過程でのフォローと対応策
14	卒業制作作品 制作過程での予測できるトラブル等の対処方法
15	エディウス リゾルブ等 ノンリニア編集ソフトの特徴を解説
16	動画メディア 書き出し方法と用途と形式による違いを解説
17	動画配信 YOUTUBE などへのアップロードについて解説